

国東を全国へ売り込む

九州7県合同 移住相談会&セミナー

6月14日(日)、東京都千代田区有楽町にある東京交通会館において九州全県が参加する合同移住相談会が開催され、国東市も市役所職員と地域おこし協力隊員の2名が参加しました。

当日は、昨今の移住ブームのなか152世帯214名の移住希望の方が来場され、国東市には、そのうちの約10分の1にあたる15世帯が移住の相談に来られました。相談に来られた方たちが一番気にされていたのは仕事の関係で、国東市の産業の発展が移住に結びつくことを痛切に感じさせられました。

また、国東市を紹介するセミナーにおいては、国東の美しい自然をプロジェクターで投影し、国東市の風土や産業、美味しい食べ物について紹介しました。

今回は大阪において8月22日(土)に全国規模で開催される「ふるさと回帰フェア2015」に参加し、しっかりと国東市をアピールする予定です。



六本木ヒルズクラブで 大分プロモーション



六本木ヒルズクラブ内の和食レストラン「百味庵」で、5月と6月の2か月限定で大分の食材を使ったメニューを提供する大分プロモーションが開催されました。

大分プロモーションで使われる食材の中には、干しダコやイカー夜干し、太刀魚天などの海産加工品、ミニトマトやキュウリなどの野菜、香菇しいたけなど、たくさんの国東の食材が使われていました。

また、本プロモーション開催中の6月8日(月)に、六本木ヒルズクラブ会員向けの交流会が行われ、今回の食材を取りまとめた地域おこし協力隊の鶴さんと飯塚さん、上京中の三河市長が国東の食材や情報をPRしました。

国東の食材は大変好評。そして、用意したグッズが全てなくなるほど、さ吉くんグッズも大人気。しかし、国東の認知度はあと一步。まだまだアピール不足を痛感しました。

今後も、産品の販路拡大を起点にして国東の認知度を上げていく活動に取り組んでいきます。

ニュージャパンマリンが立地表明

5月28日(木)、三重県伊勢市に本社を置くニュージャパンマリン株式会社が、安岐町下原に新会社を設立することを表明しました。新会社の「ニュージャパンマリン九州株式会社」は、今年の2月に撤退した日産マリン株式会社大分工場の跡地を活用し、各種船舶の製造等を行っていきます。新会社は、13名体制で6月から操業を始めますが、日産マリン株式会社大分工場 で働いていた12名を雇用します。

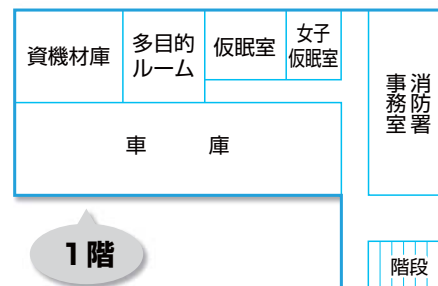
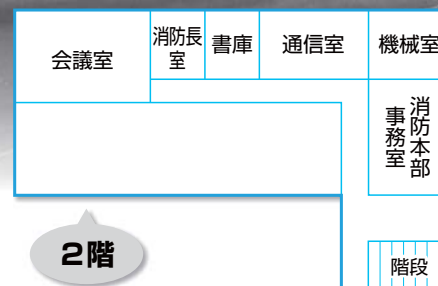


▲立地表明式の様子

同日、県庁で行われた立地表明式で、ニュージャパンマリン株式会社の中北和彦代表取締役社長は、「2、3年以内に日産マリン時代と同規模の30人体制まで拡充し、売り上げを5億円まで引き上げる計画を立てている」との説明があり、三河市長は「日産マリンの雇用も引き継いでいただき、大変ありがたい。操業が円滑にいくように支援していきたい」と話しました。



▲(左から)服部商会社長、中北ニュージャパンマリン社長、広瀬知事、中北ニュージャパンマリン常務、山本ニュージャパン九州代表取締役、三河市長



▲救助用資機材庫



▲公用車庫



▲訓練塔



▲消防車庫

今後のスケジュール

■平成27年

- 9月末……………消防救急デジタル無線整備工事完了
- 7月～12月……………新たに導入する通信指令装置へ世帯情報及び水利情報入力
- 10月下旬……………新庁舎備品関係整備

■平成28年

- 1月～2月上旬……………試験運用
- 2月上旬……………新庁舎への移転及び本運用
- 2月上旬……………運用開始式

※通信指令装置へ各種情報の入力進捗状況によっては、年内移転及び業務開始を検討しています。

問合せ▼国東市 消防本部 0978-72-1101

昨年の10月に着工した新国東市消防本部・署の建設工事が、5月29日に完了しました。本庁舎は、鉄骨造2階建て、1階が消防車庫と国東消防署で775㎡、2階が消防本部及び会議室など475㎡、総延べ面積は、約1,250㎡となっています。付帯建物としては、公用車庫、救助用資機材庫、それに地上高17mと7mの訓練塔などがあります。この新庁舎は、将来発生する

ことが危惧されている南海トラフ地震や津波に耐える災害拠点施設となります。今後は、消防救急デジタル無線工事及び新しく導入する通信指令装置への各種データ入力や試験運用を行い、平成28年2月上旬の移転及び業務開始を予定しています。ただし、データ入力の進捗状況や試験運用の結果によっては、年内の移転及び業務開始も検討しています。

◀訓練塔からの全景

